

完全先付けルールサンプル集

島町健康麻雀クラブでは完全先付け（喰いタンなし、後付けなし）を採用していますが、完全先付けがどのようなものか全体の人が全てを知っているわけではないので、また、知っている方々同士でも、それぞれの考えた方なのでゲーム途中で議論が出ることもしばしばあります。

そこで完全先付けとはどのようなルールなのか、私が Wikipedia、NPO 法人 健康麻雀グループ～千葉県柏市発、土田浩翔プロ、麻雀フロー等の考え方を調べたところ、

★「A 基本的には一翻役が確定している和了である事」（面前の上りも厳しい）ですが、世間で最も認知されている完先は「一翻役が確定している」のではなくて、

★「B 和了する役が確定していること」（面前の上りは緩やか）の二通りに分かれています。

そこで添田さん、円田さん、岡部さん、宮崎さんたちの完全先付けの認識はどちらかお聞きしましたところ「B 和了する役が確定していること」と認識していることがわかりました。それでも各人の認識もおおよそのところで一致しているだけです。例題にも答えていただいたので、その考え方を中心に皆さんが理解できるサンプル集を、Wikipedia 等を参考にしながら作りました。これをベースにして麻雀クラブの完全先付けの在り方について、会の中で検討していただければと思っています。

島町健康麻雀クラブでは完全先付け（喰いタンなし、後付けなし）の考え方は、喰いタンなしは、面前でないタンヤオにはならないということ。

後付けなしは、面前のときは確定している役がないと和了できない。鳴いたときは、後から役を付けた場合は和了れないということ。


●先付けとは、「先に役を確定させること」を意味する麻雀用語です。完全先付けの統一されたルールは存在せず、完全先付けのプロ麻雀団体や競技麻雀団体もないため、島町麻雀クラブのルールもローカルルールやハウスルールのバリエーションです

●完全先付けには2つの基本ルールがあります。Wikipedia

- 1、「門前を崩した和了の制限・中付けの禁止」があります。
- 2、「片和了りの禁止・後付けの禁止」があります。

★1、「門前を崩した和了は、最初の副露（第1副露）を役に必ず絡めるか、副露していない手牌の中で役を構成する牌がすべて揃っていないなければならない。」そうでない和了は、完全先付けではツモ上がり、ロン上がりにかかわらず不可とされる。第2副露以降には特に制約はなく、役に全く絡まなくてもかまわない。以下の例では右から順に副露した場合を例示します。Wikipedia

例1  この手牌の場合、先に  をチ

一し、後から役牌の  をポンしているので第1副露が役に絡んでおらず、完全先付けでの和了は不可。

例2



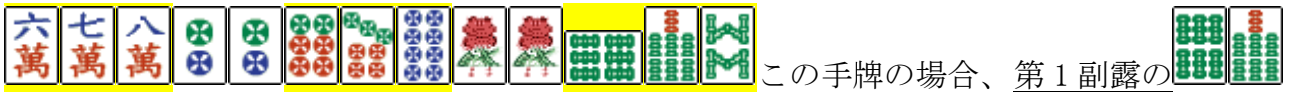
逆にこの手牌の場合は、先に役牌のをポンし、後からをチーしているので第1副露が役に絡んでおり、完全先付けでの和了も可である。

例 3



この手牌の場合、副露していない手牌の中に役牌のが暗刻で存在するため、第1副露が役に絡まなかったとしても、完全先付けでの和了も可である。

例4(三色同順)



この手牌の場合、第1副露のが678の三色同順に絡んでいるので、完全先付けでの和了も可。

例 5(三色同順)



この手牌の場合、副露していない手牌の中で678の三色同順を構成する牌がすべて揃っているため、第1副露が役に絡まなかったとしても、完全先付けでの和了も可。

例 6(三色同順)



逆にこの手牌の場合は、第1副露が役に全く絡んでおらず、また副露していない手牌の中で678の三色同順を構成する牌がすべて揃っていないため、完全先付けでの和了は不可である

例 7(三色同順)



カン待ち。この例では三色は確定しているので完全先付の和了は可、役は三色のみ食い下がり1翻である。

例 8(三色同順)第2副露が役に絡んでいないので島町麻雀クラブは和了不可。



★2、「**片和了りの禁止**」（後付けの禁止）とは、2つ以上の待ち牌がある聴牌で、少なくとも1つの待ち牌が縛りを満たさないうえに和了することができない聴牌のことをいう。
 このような聴牌形での和了の場合、たとえ和了できる方の待ち牌であっても、完全先付けではツモ上がり、ロン上がりにかかわらず不可とされる。これは門前かそうでないかを問わないが、**※門前でのツモは門前清自摸和が必ず成立するため片和了りとはならない**



和了役はツモのみ。一筒の暗刻 8 符+嵌張待ち 2 符+ツモ符 2 符で 40 符 1 翻、子 400-700、親 700 オール。他に役がないため、ロン和了はできない牌姿である。

例1

この手牌は三面待ちではあるが、で
 一気通貫となるものの、では、何も役がつかないために和了することができない。したがってこれは片和了りとなり、完全先付けでの和了は**不可**。

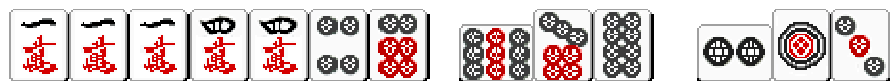
例2

この手牌では待ち牌が、であるが、
 どちらの待ち牌でも一気通貫となるために片和了りではなく、完全先付けでの和了も可。

例3

この手牌では待ち牌がの1つだけであり、和了れない待ち牌はないため片和了りではなく、完全先付けでの和了も可。

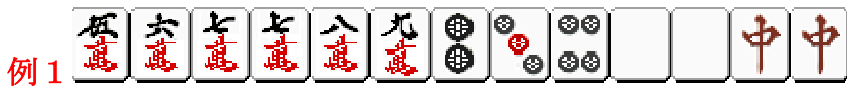
例4



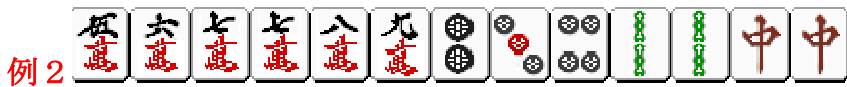
Aの考え方では これは最初に2筒を鳴いた時点で役が確定していないので**和了不可**。2副露目の面子が6 9筒の2種類の受けがあり、9筒での鳴きだけが役を確定させることができるため。つまり、1副露目では役が確定していないということで後付け扱いになります。

Bの島町自治会健康麻雀は一気通貫として認め和了可

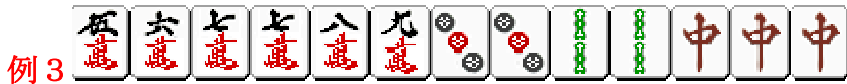
●クイタンなし、後付けなし(完全先付け=確定している役がないと和了れないルール。)は、リーチを掛ける場合は問題ありませんが、面前での場合にAとBで和了不可と可に分かれます。例題で説明します。



この手牌では白で和了ると白のみで、中で和了ると中のみとなりどちらの和了りにも共通している役がないのでAは和了不可。 Bの島町自治会麻雀クラブは和了可



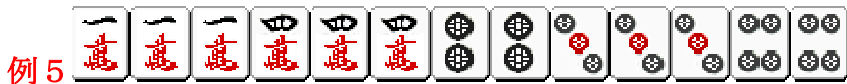
待ち牌の2索、中のうち役がつくのは中だけなので、役が確定していないので、2索でも中でも A、Bとも和了不可。ツモるかリーチを掛けるは Bの島町自治会麻雀クラブも同じ。



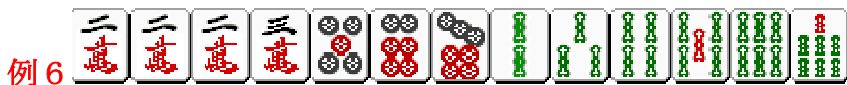
どんな和了り方をしても中の役が確定している。 A、Bとも和了可



7筒で和了ると四暗刻となりますが、8筒で和了ると純全一盃口になって共通している役がないのでAは和了不可。 Bの島町自治会麻雀クラブは三暗刻が確定しているので和了可。



同じ四暗刻で待ちは2 3 4筒ですが、2 4筒は対々和、三暗刻(もしくは四暗刻)、3筒は一盃口となるためAは和了不可。 Bの島町自治会麻雀クラブは三暗刻が確定なので和了可。



待ち牌は1 4 3萬の3種類あり、1萬は平和のみ、4萬はタンピン、3萬はタンヤオのみということになり、確定している役がないのでAは和了不可。 Bの島町自治会麻雀クラブはピンフが確定なので和了可。



1索は平和、4索はタンピン、7索はタンヤオのみで確定している役がないのでAは和了不可。 Bの島町自治会麻雀クラブはピンフが確定なので和了可。



2索はタンピン、5索はタンピン、8索はタンヤオでタンヤオが確定。 A・Bとも和了可。



聴牌の待ち牌は2 5索、役がつくのは5索だけで2索は役がつかないので、 A・Bとも和了不可。ツモるかリーチを掛けるは Bの島町自治会麻雀クラブも同じ。



これも役がつくのは9筒だけで3 6筒は役がつかないので A・Bとも和了不可。ツモるかリーチを掛けるは Bの島町自治会麻雀クラブも同じ。



例 1.1

一通で3 6 9筒のどの和了りであっても平和が付きますので、A・Bとも和了可。



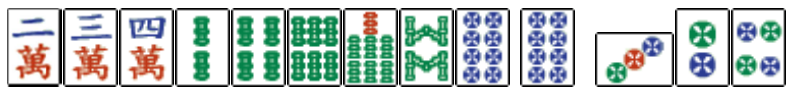
例 1.2

3筒で平和一盃口。6筒の場合は七対子と二盃口のどちらにも取れる。一盃口が確定しているのでAもBも和了可。

● **喰いタンなしの例外、島町自治会麻雀クラブ** (現在も考え方が錯綜している)

これまでも三色同順、トイトイ、三色同刻、清一色がチーして聴牌した場合にタイヤオだったら 1 翻加算される。

例 1 三色同順 = 島町自治会麻雀クラブ



カン待ち。この例では三色は確定で完全先付の和了は可、役は三色のみの食下がり1翻。タイヤオ加算なし。

例 2 トイトイ = 島町自治会麻雀クラブ



4満単騎で、トイトイが確定しているので完全先付の和了は可。役はトイトイ2翻。タイヤオ加算なし。

例 3 三色同刻 = 島町自治会麻雀クラブ



待ちで三色同刻が確定しているので完全先付の和了は可。タイヤオ加算なし。

例 4 清一色 = 島町自治会麻雀クラブ



待ちの清一色で確定。完全先付の和了は可。

● **振聴リーチ・リーチ後の見逃し不可** (流局時にチョンボ) 島町自治会麻雀クラブ

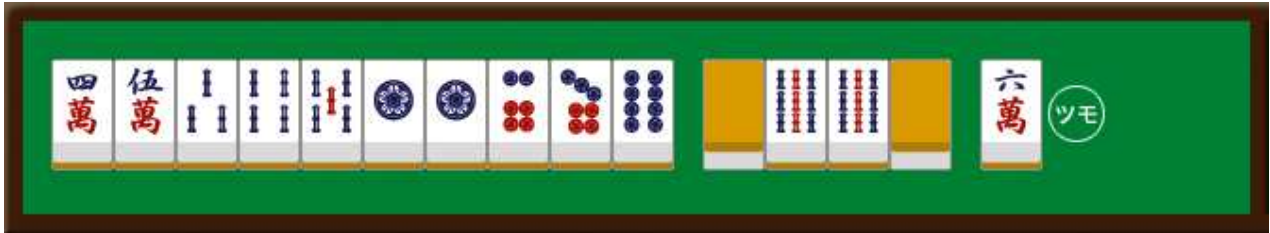
●流局時の聴牌は、面前は役なしでも、フリテンでもOK。 副露の場合は役付きに限る。

島町自治会麻雀クラブ

●他に役がない偶然役（嶺上開花・海底摸月・河底撈魚・槍槓）のみのAは和了不可。

Bの島町自治会麻雀クラブは面前の場合は和了可、副露の場合は役付きに限る。

★1、嶺上開花（リンシャンカイホー）



- アンカン(※1)やミンカン(※2)をして、ツモってきたリンシャン牌(※3)でツモアガリ(※4)するアガリ役です。
- リンシャン牌をツモって、さらにカンして、ツモってきたリンシャン牌でツモアガリした場合も嶺上開花となります。
- メンツの組み合わせは何でも OK。
- ポン、チー、カン(ミンカン)していても OK。
- アタマは、字牌でも数牌でも OK。
- 待ちの形は何でも OK。
- ※1 アンカン：自分の手の中につくった同じ牌 4 枚。
- ※2 ミンカン：ほかの人が捨てた牌を貰って同じ牌を 4 枚にすること。
- ※3 リンシャン牌：カンしたときにツモる牌。
- ※4 ツモアガリ：自分がツモってきた牌でアガリになること。

★2、海底摸月（ハイテイツモ）



- ハイテイ牌でツモアガリ(※1)するアガリ役です。
- メンツの組み合わせは何でも OK。
- アタマは、字牌でも数牌でも OK。
- ポン、チー、カン(ミンカン)していても、テンパイ(※2)していれば OK。
- 待ちの形は何でも OK。

※1 ツモアガリ：自分がツモってきた牌でアガリになること。

※2 テンパイ：あと 1 牌くればアガリになる状態。

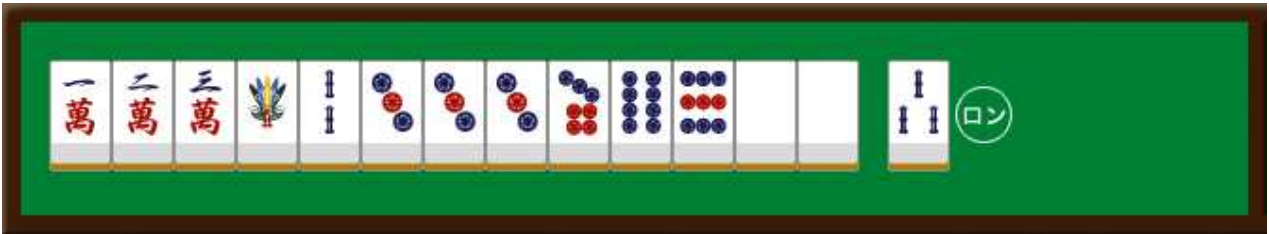
★3、河底撈魚（ホウテイロン）

- 1局の最後の捨て牌（ホウテイ牌）でロンアガリ（※1）するアガリ役です。
- 最後に捨てられた牌であれば、ハイテイ牌のツモ切り（※2）である必要はありません。
- メンツの組み合わせは何でも OK。
- アタマは、字牌でも数牌でも OK。
- ポン、チー、カン（ミンカン）していても OK。
- 待ちの形は何でも OK。

※1 ロンアガリ：ほかの人が捨てた牌でアガリになること。

※2 ツモ切り：ツモってきた牌をそのまま捨てること。

★4、槍槓（チャンカン）



- ほかの人が、ポンしていたパイの残りの一枚を持ってきてミンカンをしたときに（「追加のカン」または「小ミンカン」という）、その牌が自分のアガリ牌だった場合にロンアガリ（※1）するアガリ役です。
- メンツの組み合わせは何でも OK。
- アタマは、字牌でも数牌でも OK。
- ポン、チー、カン（ミンカン）していても OK。
- 待ちの形は何でも OK。

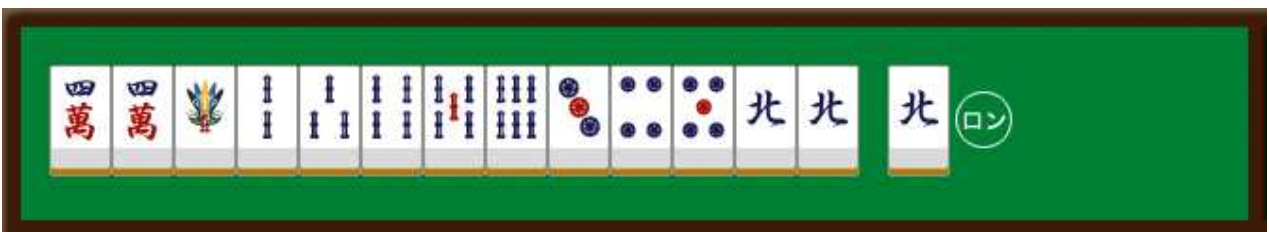
※1 ロンアガリ：ほかの人が捨てた牌でアガリになること。

責任払い包（パオ）について





Wikipedia

責任払いとは、麻雀における細目ルールのひとつで、ある特定の役の和了が発生した時に、その役を確定させる副露を許したプレイヤーに対して課される罰則（点の支払い）である。原則として包は大三元、大四喜、四槓子に適用される。島町自治会健康麻雀クラブで考えられるのは**★1 大三元の確定★.2 大四喜の確定**





★1、大三元の確定



二つの三元牌を晒している（ポン、槓（暗槓も含む））相手に対して残り一種の三元牌を捨て、その三元牌もポンされた場合。

(例)    の相手に対し  を捨て、それをポンされる。ポンではなく [大明槓](#) された場合も包となる。

役満の包が成立した場合の支払い


大三元の包・大四喜の包					
ツモ和了の場合			ロン和了の場合		
	支払い免除 0			傍観者 0	
包者 -32000		支払い免除 0	包者 -16000		放銃者 -16000
	和了者 (子) +32000			和了者 (子) +32000	
(中捨てが包による特殊な支払い)					
					
(東捨てが包の分の支払い)					
					

副露によりこれらの役満が確定してしまった場合、その役が和了に至ったときには、

- ツモ和了の場合、確定する副露を発生させた者が全額を支払う。
- ロン和了の場合、確定する副露を発生させた者と振り込んだ者が半分ずつ支払う。

★ 2、大四喜の確定

三つの風牌を晒している（ポン、槓（暗槓含む））相手に対し残り一種の風牌を捨て、ポンされた場合。

(例)     の相手に対し  を捨て、それをポンされる。上と同じく、ポンではなく [大明槓](#) された場合も包となる。

